

吾妻・グランデコ～西大嶺南西尾根～百貫清水 山スキー

T野

メンバー：T野・H口芳・A井・A原

2026年3月7日

2/12の夜、懐かしい人からメールが来た。2002年にまだ20代前半で銀座に入会して、約10年間、一緒に沢登りや山スキーを楽しんだ仲間である。あの頃はお互いに体力もあったので結構ハードな山行もこなしていた。

特に2008年に日帰りで周遊した飯豊・北股岳～サイフ沢～門内岳～門内沢の連続滑降は印象深い。今となっては逆立ちしても無理な計画だが、東京を夜出発してほとんど睡眠もとらずに飯豊連峰北部の2つの山の周遊を実行できたのは、やはりまだ若く無理が効いたからだろう。それ以外にも、常念岳や大天井岳にスキールートを開拓したり（東京新聞社のハイグレード山スキーに掲載された）、白馬岳の黒部川の清水谷を滑降して白馬鎗に登り返して鎗沢を滑って周遊したりと、充実した時代を共に過ごしてきた仲間である。その後、多くの人が経験する結婚・仕事・子育てといういわば3大北壁に阻まれ、2013年を最後に自分の山行は封印してきたのだが、突然、2/12に復活宣言のメールが届いたわけである。

申し遅れたが、彼の名はA井さん、自分の山行を封印しても銀座に在籍し続けていた。たまに家族でクリーンハイクや集中登山には参加してくれたが、彼には申し訳ないが「おそらくこのままフェードアウトするだろうな。」と思っていた。それが何とも嬉しいメールが来たものである。

なんでも、山スキー装備は一新したという。今の時代、山スキー装備を一新すれば軽く30万くらいの出費にはなるだろう。ということは、彼は本気である！！これは何としても協力して復帰を助けてあげたい。今回はまじめにそう思ったのだ。

記録をひっくり返してみると、僕とA井さんの最後の山スキーは2012年5月の針ノ木岳マヤクボ沢だ。「思い出した！！」二日酔いと高山病でA井さん・I崎さん・T山さんに全くついてゆけずヘロヘロになって登って、帰りは二日酔いも高山病もみるみる回復して嘘のように快適に滑った山行だ。記録を付けているとこういう時に振り替えるのに便利である

さて、前置きが長くなったが、こんな理由だから今回の山行は復活にふさわしい良い思いをさせてあげたい。メンバーもA原さん・ホリホリとスムーズに動けるメンバーがエントリーしてきた。

ところが・・・である。問題の天気がこの日だけ低気圧がドンと居すわり、日帰り可能な場所はどこも最悪である。しかも、強風が吹き荒れ、どの山域も2000m付近は25m以上の風が吹き荒れるようである。通常なら潔く中止の判断を下すべきであろう。行ってもきっと修業で楽しくない。だが、A井さんが自由に動ける日はまだ限定的である。ここは何としても実績を作りたいところである。

ということで、頭の中の引出しのあちこちを手あたり次第に開けて何とか画策を試みる。まず、強風予報なので森林限界上はパスである。次に標高が低いと雨予報なので、そこそこ高い場所じゃないとまずい。風は西風なので、できれば東斜面が好ましい。さらに、結構な悪天候なのでエスケープがしやすいルートでなければいけない。そんなことを考えながら弾き出した答えが、グランデコの西側にあるボス大嶺・ボス吾妻周辺のブナの森である。上記の条件では、「東斜面」という部分のみ当てはまらないが、風の予報は結構いい加減だし、天気図を見てもそれほど等圧線も混んでいないので何とかなるだろう。それに風が強くても所詮、森の中である。大したことはないだろう、そういう読みであった。

さて、この山行、どうなったのであろう。では報告です。

3/7 グランデコ～西大嶺南西尾根 1870m付近～百貫清水～グランデコ



最近是我々も贅沢になり、いつも前夜は安宿を捜して安眠していた。今回も郡山あたりで探してみたがなかなか良い物件が見つからない。「郡山健康ランド1泊 ¥2200」これだ！！と思ったが、よく見ると男性専用とある。A原さんが「私、男装しようか？」と一瞬、冗談とも思えない発言もあったがもちろん冗談であった。

結局、久しぶりに五百川PAで仮眠することになる。A井さんはこういうのが懐かしいようで楽しそうだ。

翌朝、スキー場のリフトは8:30まで動かないので比較的のんびりである。コンビニで朝食を採って、早めにスキー場まで行き、しばし待機。

9:00 発のゴンドラを待つより、8:30に動き出すリフトを乗り継いだ方が早そうだったのでリフトを利用する。ちなみに料金は一緒。リフトはフード付き高速リフトなので快適。ただ、今日の強風予報は残念ながら当たってしまったようで、リフトが止まるくらいの強風がスキー場を吹き荒れている。これでは森の中とはいえ油断できない。



■写真上 烈風吹きすさぶ中の出発準備。

■写真中 さあ、森に逃げ込もう！！

■写真下 百貫清水に向け滑降開始！！

3本乗り継いでスキー場トップまで行き、強風のもとで苦勞して準備して9:22 出発。それにしても羨える天気である。ただ、森の中に入ると何とか普通に行動できるようになり一安心。スキーを一新したA井さんだが、





ウェアは14年前のま
ま・・・まるでタイムスリッ
プしたかのようである。どう
やらそこまでは予算が出な
かったらしい。まあ、逆に遠目
にもA井さんだ！！とすぐ認
識できるのでこれは特に問題
ない。

A井さんはこんな条件でも
シールの感触を楽しむように
登っていた。最初は後ろから
付いてきたが、調子が出てく
るとラッセルも楽しそうにこ
なしていた。我々は喜んでラ
ッセルを譲って後ろから付い
て行くことにする。



森の中の天候はまあまあ穏
やかだが、沢っぼいところを
横断する場所は、下から風雪
が吹きあがり、顔面が痛
い！！あんまりゴーグルは好
きではないのだが、「これは
たまらん！！」と久しぶりに
ゴーグルを使用する。1870m
付近で南西尾根に乗ったので、
今日はピークには行かず、こ
こから滑降する。これは最初
から予定通りの行動だ。

■写真上 最初はまあまあ楽
しめた。

■写真中 滑り降りて、百貫
清水を探しに行く。結構、本
降りになってきた。

■写真下 百貫清水をみつけ
ー！！



滑ってみると最初のうちは
少しモナカっぽいが何とか回
せる雪で、これなら許容範囲、
と思い滑って行く。ところが、
標高が下がるにつれ本格的な
モナカちゃんが登場！！テール
が完全にロックされて曲がる
ことがままならない。「気温
が上昇した後に氷点下になり、
表面が凍って、仕上げに強風
が吹いて本格的なモナカ



チャンの出来上がり！！」簡単に言えば、まあこういうことなのだろう。もしこんな条件で山スキー初体験の人を連れてきたら、この1回できっと2度目はないであろう。しかしA井さん、結構楽しそうに彼独特の体を大きく上下させる動作で滑ってくる。まるで、滑りがどうのというより、山の中にいること自体を楽しんでいるように……。一方、それなりに山スキーの甘い汁を吸ってきた僕は、「今日は、滑りよりシール歩行の方が楽しいね。」と本心を漏らす。標高差約550m滑り、百貫清水を探すか、3年前には滑り降りた場所にあった百貫清水がなかなか見つけれられない。ヤママップを頼りに歩き、漸くこの時期でも満々と湧き水を湛える百貫清水を見つけ出した。

予定ではこの後、ボス大嶺まで登って1本東斜面を滑るつもりであったが、天気も悪化してきたし、この雪質では……。？ ということで、おとなしくスキー場に戻ることにする。滑ってきた尾根を標高差約220m登り返し、南に降りる尾根の東側を滑る。思った通りこちらの斜面の方が西寄りの斜面より滑りやすく何とか回せる。まあ、モナカちゃんには変わらないけどいくらかマシ、とい

う程度ではあるが……。

傾斜がないところまで下りで、左に向かって小さな沢を2本渡ると、ゲレンデを滑っている人が見えてきた。「ゲレンデって滑りやすーい！！」とんでもないダートから高速道路に乗ったみたいであつという間に滑り降りて終了！！

温泉は猪苗代観光ホテル（¥1000）値段の割に露天もないし評価は低いがこの辺り、あまり良いところがなくあつても¥1200以上と悩ましいところだ。良いところがあつたら教えて欲しい。そして、下山飯はいつもの喜多方ラーメンの店「来夢」ここは安心のおいしさだ。山の後のラーメン、僕は大好きだ。

最後に、A井さん、また時間見つけてぜひ連絡ちょうだい！！

家族の機嫌を損ねない程度に自分の楽しいことしましょう！！今度はもっといい条件で滑りましょうね！！

また、この条件でも付きあってくれたA原さん、ホリホリ、ホントに有難うね！！

ホリホリの報告じゃないけど、僕も「A井さん、おかえり！！」

■写真上 さあ、スキー場に戻ろう！！

■写真下 「来夢」の喜多方ラーメンは絶品！！

■コースタイム

スキー場トップ（9:22）～（10:40）南西尾根 1840m付近（11:02）～（11:44）百貫清水周辺（12:21）～（13:05）南西尾根 1500m付近（13:25）～（13:55）スキー場ベース